

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課												
	作成責任者	西村正芳												
	事業名	福知山城観光誘客強化事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	会計	一般会計	事業コード	650381	決算付属資料	80	頁
	施策体系	施策コード	020703	施策名	文化施設を整備する									
	開始年度	平成30年度(2018)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	郷土資料館条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市シンボルである福知山城の魅力を再確認して、市内外に発信し、市民の愛着と誇りを育み、知名度アップやイメージ向上を図る。今回、将棋タイトル戦(竜王戦)の開催や2020年大河ドラマの決定を受け、多くの来場者が見込まれるため、環境整備を図る。										
	対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	工事請負事業者等										
	事業概要	福知山城公園井戸転落防止網等修繕 郷土資料館内装改修工事 郷土資料館換気設備更新工事 郷土資料館非常灯ほか改修工事										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		需用費	修繕料							1,402		
工事請負費		改修工事他							16,339			
委託料		空調ダンパー不動産調査業務他							105			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初			0	39,563	28,821			
	②補正予算			23,150					
	③流充用額			△ 594					
	④繰越額計			0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源			4,823	3,732	28,821			
	国支出金			0	7,581				
	府支出金			3,000	0				
	地方債			13,100	24,000				
	その他特財			1,633	4,250				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	郷土資料館整備基金	種類	基金繰入金	実績金額	1,492	決算付属資料	38	頁
	特財名称	地域活性化債	種類	市債	実績金額	12,000	決算付属資料	46	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.33 / 0.1	0.33 / 0.1					
⑤概算人件費			2,890	2,890					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			25,446	42,453					
⑦執行額			17,846	0					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			79.1%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入館者数	人				40,072/38,000	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	開館日数	日			287/310	/	334	334
	単位あたりコスト				62.2			
	単位あたりコスト					/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	2020年大河ドラマの控え、筑後30年以上経過し老朽化した施設内の整備を進め、来館者に安心・安全に見学使用できるよう整備した。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な業務発注ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	来館者に適切な施設環境を整えるとともに安心・安全な施設運営を進めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		工事期間中やイベント開催中も安心・安全な施設運営を図ることができた。	
今後の課題及び方向性		平成28年度に天守閣再建30周年を迎え、施設の老朽化には福知山城観光誘客強化事業により修繕・改修等を進めているが、今後10年20年先を見据え運営も含めて計画的に対策を図っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <p>○これまで整備ができていなかったと感じるので、大河ドラマをきっかけとすることはとても良い。市のシンボルとして福知山城は計画的に維持管理をしていくべき。ただし、フィーバーは過ぎ去るので、今からその時のことを考えておく必要がある。その際は、観光政策と文化政策のどちらを主たる目的にするのか明確にし、観光面であれば、成果は来館者数だけでなく市外からのリピーターなどになるし、文化面であれば、市民の愛着心や満足度になる。</p> <p>○観光客が増加することに伴い、経済効果を十分に考慮した施策の検討が必要。</p> <p>○アウトカム指標はそれぞれの事業の目的に合わせて再考するべき。行政の役割(市民が期待する)としては「市に対する愛着・誇りの形成」を掲げてほしい。そもそも「大河がくる」ことは市民にとってどういうメリット・優先順位があるのかも考えていただきたい。</p> <p>○改修は必要だが、「誘客」を目標とするのなら、ソフト・ハードを担当する課同士連携して、もっと効果的な事業の実施方法があったのではないかと。</p>

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】